

東大阪創生会

をしている全ての市内企業を訪問した実績もある。今こそ企業と障害福祉サービ

ス事業とのマッチングを積極的に行うべきであり、改めて市内の企業を訪問すべきと考えるがどうか。
福祉部長 経済部や関係機

新 社 会 党

個人質問 松平 要

校内での子ども達の安全確保を！ 開かれた教育行政のため柔軟な会議の公開を！

―校内の子ども達の安全対策について―
問 本市の当初予算では従前の安全パトロール事業が姿を消し、新たにスクールサポートスタッフ配置事業が予算化されているが、安全で安心な学校のために従前どおり警備員の配置が必要と考えるが、市長の考えはどうか。人の子の親なら、誰しも来年度から校内パトロールのなくなる本市の公立学校より、警備員が配置されている学校のほうが安心して愛し子を通わせることが出来ると思うのではないか。その親の立場に立って答えていただきたい。

市長 防犯設備の設置により学校の安全確保については一定の水準に達したものと考えている。今後については、学校の安全に係る状況把握に努めることも、適切な対策を講じるよう教

育委員会に求めていく。
―教育委員会会議傍聴規則について―
問 東大阪市教育委員会傍聴人規則では定員が十二人であり、定員に達したときはそれ以上入場できないとしている。過去の教科書採択の際には八十数名の傍聴希望者を抽選で十二人に絞り込み、落選した人には音声傍聴も保証できず本題に入る以前に緊迫した空気になったと聞き及んでいる。市民の関心の高い議案や会議の際には希望する市民に出来るだけ多く傍聴を保証するため、開かれた教育行政の観点から柔軟な対応が求められると考えるがどうか。
教育次長 教育委員会議の審議内容をより広く市民の皆様を知っていただくことは大切であると認識しており、何らかの方法がないかについて検討していく。

関と連携し、法定雇用率の未達成企業等に障害者の就労に関する理解の啓発を行い、雇用が促進されるよう働きかける。

つばさの会

個人質問 野田 彰子

安心して子育てができる 支援体制の確保を！

―産後ケア事業について―
問 本市子育て支援には、切れ目のない支援とうたわれているが、出産後一ヵ月健診までのブランクは、母と子にとって最も大切な時期でもある。その期間に起こる産後うつは、今や十人に一人とのデータもある。女性が一生に一度の大仕事、また産みたいと思える出産であれば、少子化にも歯どめがかかる。ただ問題点としては、まだまだ認知度が低い、受けられる対象者が限られている、場所と人員の提供の充実が困難、料金設定が他市に比べ高い。これらを解消するに当たり、助成の拡充について、当局の見解を伺う。

健康部長 平成三十年度より利用者の自己負担額は控え置き、委託料単価を増額した。今後も近隣市の状況を鑑み検討してまいります。

―医療的ケア児への通学支援について―
問 たんの吸引など日常的に医療的ケアが必要な子どもへの通学支援として、親

―文化創造館の利用について―
問 今年の九月一日に創造館がオープンするにあたり、予約が既に始まっている中、かなりの不具合を聞いている。減免など他市の施設とは違うことを伝えても、「市議会議員が決めた規則、議会の責任」と聞く耳も持たない。幾ら委託とはいえ、窓口は市の顔、イコール市の姿勢そのものである。いろんな施設を見て回り、よい会館にすべく努力をしてきたことに併せ、市民の各界の皆様との意見交換を重ねた上での完成なのに大変残念である。これらを踏まえ、規約は改正できるのかを伺う。

人権文化部長 利用者にとって不満と感じている点については、今後、運営事業者と協議しながら、適切な運営に努めてまいります。

と一緒に学校へ通学する送迎タクシー事業はあるが、本市には訪問看護師と一緒に通学できる仕組みも必要だと考えるがどうか。

真 実 の 会

個人質問 小畑 治彦

動かなかった事業もようやく前へ！ 利用者が安心して利用できるエレベーターの設置を！

―陣痛タクシーについて―
問 陣痛タクシーは、出産予定日や産院をあらかじめ登録しておく、陣痛が始まった時や破水した時に優先的に配車してくれるといったものであり、他の車両を探すよりも結果的に短時間で病院に到着する事が可能になる。近くに援助者がいない、いても陣痛や破水した時に誰もいないという事もある。そういった中で、大阪府内でも一部の地域で陣痛タクシーが始まっており、本市においてもより安心して出産、子育てに寄り添える優しい町を目指して、ニーズ調査も踏まえ、導入に向けて積極的に取り組んでいただきたいと考えるが当局の見解を伺う。

健康部長 各保健センターでの4カ月児健康診査時にアンケート調査を実施し、まずは現状、ニーズの把握

などを行いたいと考えている。
―JR徳庵駅東側エレベーター設置について―
問 地元住民、自治会、各種団体の協力を得ながら設置に向けた活動を続け今日に至るが、平成三十一年度はさらに前へ進めるための予算配分がなされていると確信しており、徳庵駅には絶対に必要な事業となっているので、設置に向けて全力を尽くしていただきたい所存である。このことに併せて、現在の階段については、老朽化した階段を東側利用者が全員が利用していることから、早急な安全確保並びに早期改善に努めていただきたいが当局の見解を伺う。

土木部長 階段の状況を把握し、安心して利用していただけるよう早期に対応してまいります。